



# 腎癌とともに生きる

世界腎癌デー | 2023年6月15日

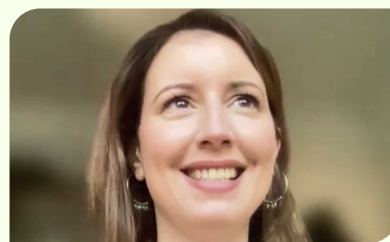
## 家族、友人、他の患者さんと話そう

腎がんと診断された患者さんの多くにとって、誰に、何を、どの程度話せばよいのか、というのは大きな問題です。腎がんはまれであるため、同じような経験をしている他の患者さんと知り合う機会も少ないでしょう。ただ、自分の病気について、精神的にも身体的にも、自分が病気からどのような影響を受けているのかを率直に話すことは、患者さん本人にとってだけでなく、患者さんの家族や友人にとっても良いというのが専門家の意見です。情報を共有できる場であり、まさに今の状況を経験してきた人たちから支援を得られる支援団体に参加している患者さんやケア提供者の方々が、支援団体での経験は人生を変えるものであったと話しています。

## 身近な親しい人たちに話そう

家族や友人に何を話そうかと考えるときに、大切な人たちを心配させないように、自分は大丈夫と言って本当の気持ちを隠したくなるものです。しかし、実際にそのような事が運ぶことはめったにありません。むしろ、余計に心配させることになるほうが多いでしょう。家族や友人にはあなたが大丈夫でないことがわかり、何かを隠しているに違いないと考えて最悪の事態を恐れることとなります。身近な親しい人たちは、あなたを助きたい、そばにいたいと思っています。ですから、自分のためだけでなく、相手のためにも、素直になって支援してもらいましょう。ある患者さんが話すように、「思っていた以上に人が気にかけてくれて、自分のことを大切に思ってくれていることに気づくでしょう」。

「父が何も言ってくれないと、私など支えにならないと信頼してくれていないのかと思ってしまいます」



Claudia (ケア提供者、イタリア)

「患者支援団体に参加することを強くお勧めします」

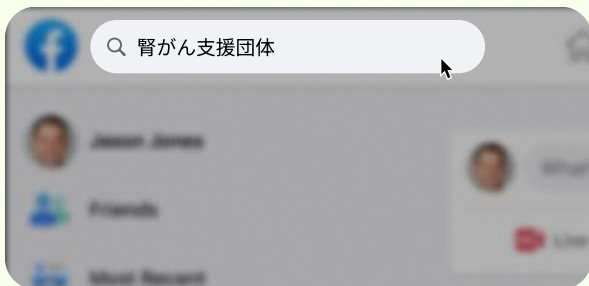


Hiro (患者、日本)

## 患者支援団体に参加しよう

ほとんどの患者さんの場合、まわりに腎がん患者さんがいることはありません。そのため、患者支援団体に参加して、まさに自分と同じような経験をしている人たちとつながることは、患者さんにとって実際的にも精神的にも大きな支えになるでしょう。特定のがんや病期に特化した支援団体もあれば、もっと広く、がんがある人のための団体もあります。どのような支援団体に参加するにしても、情報や経験、ちょっとした秘訣を共有し、あなたが経験していることを本当に理解してくれる人たちと気兼ねなく話せる機会のひとつとなります。

## 患者支援団体を探す方法



Facebookの左上部から 団体を探す



検索後に左のメニューから「グループ」タブをクリック

対面式の支援団体もありますが、ほとんどがオンライン形式で、場所を問わず、世界中の患者さんとケア提供者が参加できるようになっています。医師や友人から支援団体を紹介してもらうことも可能かもしれませんが、インターネットで検索することもできます。またFacebookやTwitterなどソーシャルメディアを利用して支援団体を探すこともできます。

世界腎がんデーのウェブサイトでは、自分に合いそうな団体を見つけて、正確な情報をもつ信用できる団体であることが確認できるように、わかりやすい役立つ情報を作成しました。International Kidney Cancer Coalition (国際腎臓がん連合：IKCC) のウェブサイト [ikcc.org](http://ikcc.org) にも患者支援団体へのリンクが掲載されており、情報源として最適です。

「他の人たちがこのような状況を経験して、そこから抜け出していることを知ることは、本当に助けになります」



Lynne (患者、イギリス)

「これから自分が受ける手術をすでに経験した人たちを見ることができて、とても救われます」



Ronald (患者、オランダ)

「Facebookコミュニティでは、他にはないほど本音で話せます。」



Joel (患者、アメリカ)

---

世界腎がんデーは協賛企業の温かいご支援によって支えられています。  
世界の腎がんコミュニティを代表して厚く御礼申し上げます。

ゴールドスポンサー



シルバースポンサー



ブロンズスポンサー

